

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2025年3月期 第3四半期 連結決算の概要

---

2025年2月7日

## 連結：増収増益

売上高 52,635百万円(+4,600百万円)  
営業利益 819百万円 (+742百万円)

- 売上： 国内はがん治療領域が堅調に推移、薬価及び診療報酬改定に係る製品が増加、価格転嫁の進展も増収に貢献、海外は血液・細胞領域に続き透析領域が伸長、円貨換算額の増加も加わり増収
- 利益： 原材料費や電力費等の高騰に加え、設備投資に伴う減価償却費の増加はあるものの、主力製品の伸長や価格転嫁などの増収効果により増益

## システム別売上高

- 透析： 薬価改定を受けてプレフィルドシリンジ製剤が増加のほか、主力のAVF針（血液透析用針）や中国向け血液透析装置が増加
- 血液・細胞： 主力の成分献血用回路や血液バッグが伸長、事業譲受した白血球除去フィルターが加わり増収に寄与

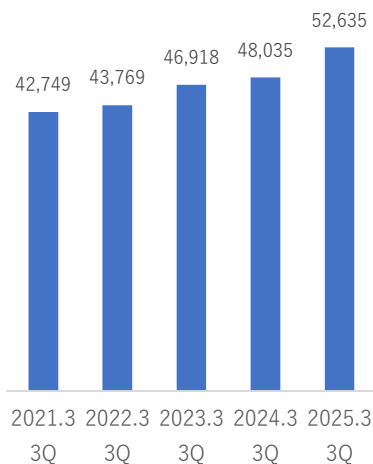
## 地域別売上高

- 日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、薬価及び診療報酬改定を受けて、プレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品が増加、価格転嫁も増収に貢献
- アジア： 血液バッグが伸長、中国で血液透析装置やAVF針、白血球除去フィルターが増加

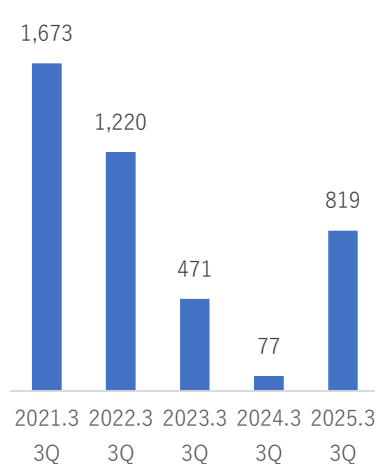
(単位：百万円)

	2024年 3月期 3Q	2025年 3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	48,035	52,635	4,600	9.6%
営業利益	77	819	742	958.7%
経常利益	263	632	368	139.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	209	155	287.1%

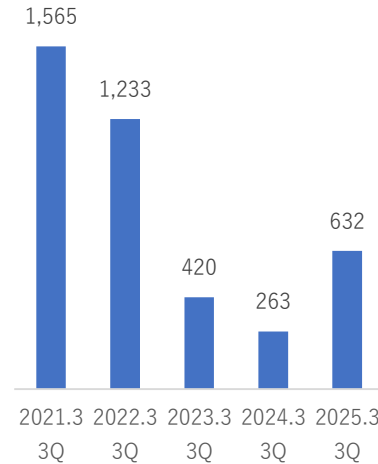
売上高



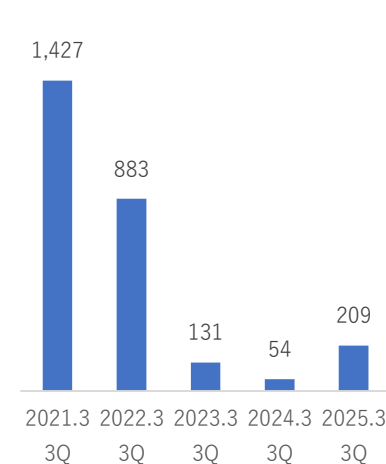
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

日本： プレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品及び薬剤調製・投与クローズドシステムのほか、中国向け血液透析装置や関係会社向け販売が増加、価格転嫁の進展による増収効果も加わり増益

シンガポール： 主力の成分献血用回路や血液バッグが伸長、増収効果はあるものの、原材料費や運送費の高騰に加え、為替が不利に働き営業外で為替差損を計上し減益

（単位：百万円）

		2024年 3月期 3Q	2025年 3月期 3Q	増減額	増減率
日本	売上高	32,009	34,942	2,932	9.2%
	利益	228	1,150	922	403.7%
シンガポール※	売上高	17,643	19,762	2,119	12.0%
	利益	△ 105	△ 255	△ 149	—
中国	売上高	2,771	3,167	396	14.3%
	利益	△ 51	△ 7	43	—
フィリピン	売上高	2,903	2,853	△ 50	△1.7%
	利益	△ 154	△ 277	△ 123	—
ドイツ	売上高	2,976	3,328	352	11.8%
	利益	357	338	△ 18	△5.1%
その他※	売上高	2,927	3,711	783	26.8%
	利益	△ 2	△ 272	△ 269	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。  
 ※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域



売上高



## 透析領域



売上高



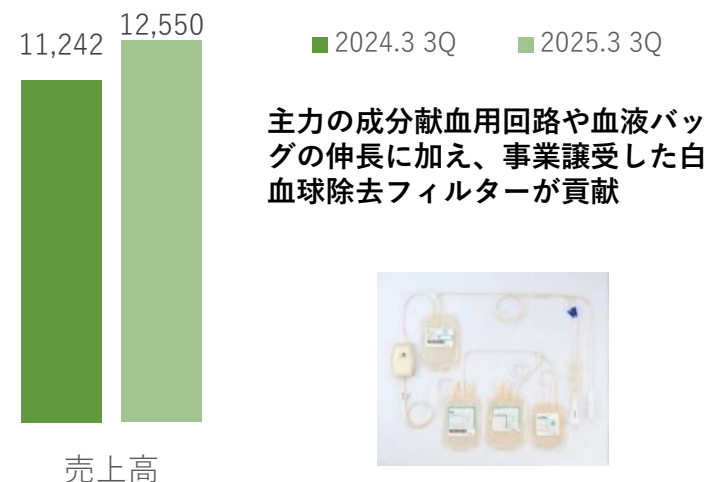
## 外科治療領域



売上高



## 血液・細胞領域



売上高

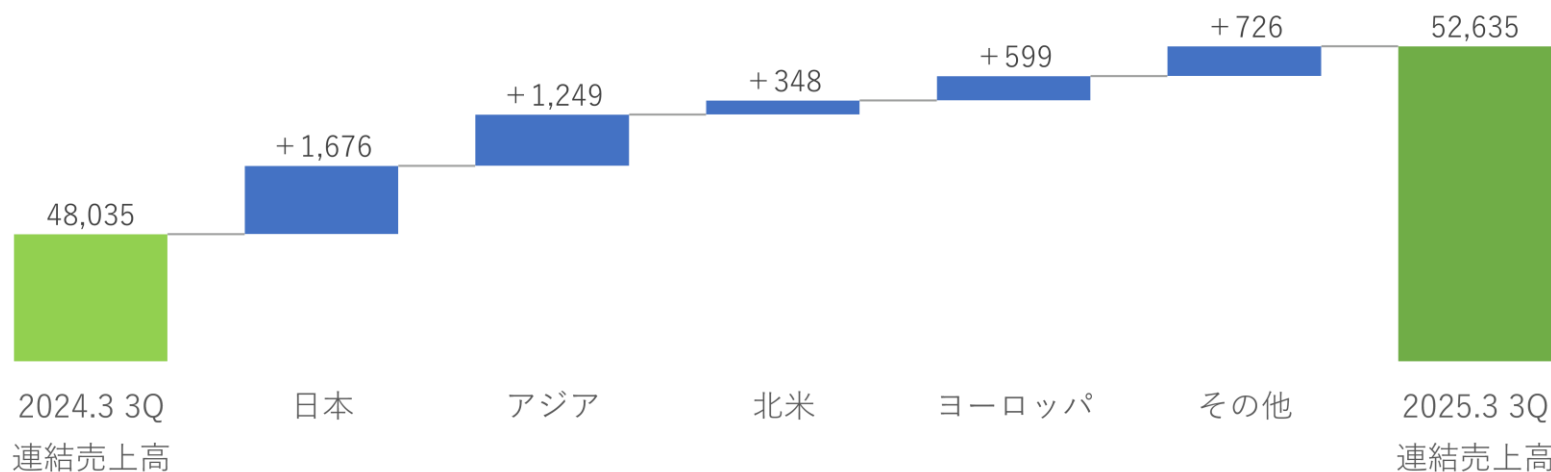


# 地域別売上高

日本は薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、薬価及び診療報酬改定に係る製品が増加、価格転嫁の進展も貢献し増収、海外は主力の成分献血用回路や血液バッグが伸長、中国では血液透析装置の増加に加え、事業譲受した白血球除去フィルターも加わり増収、北米・欧州向けA V F針の増加など各地域で増収

(単位：百万円)

	2024年 3月期 3Q	2025年 3月期 3Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	28,469	30,146	1,676	5.9%	57.3%
アジア	8,287	9,537	1,249	15.1%	18.1%
北米	5,697	6,045	348	6.1%	11.5%
ヨーロッパ	4,332	4,931	599	13.8%	9.4%
その他	1,248	1,974	726	58.2%	3.8%

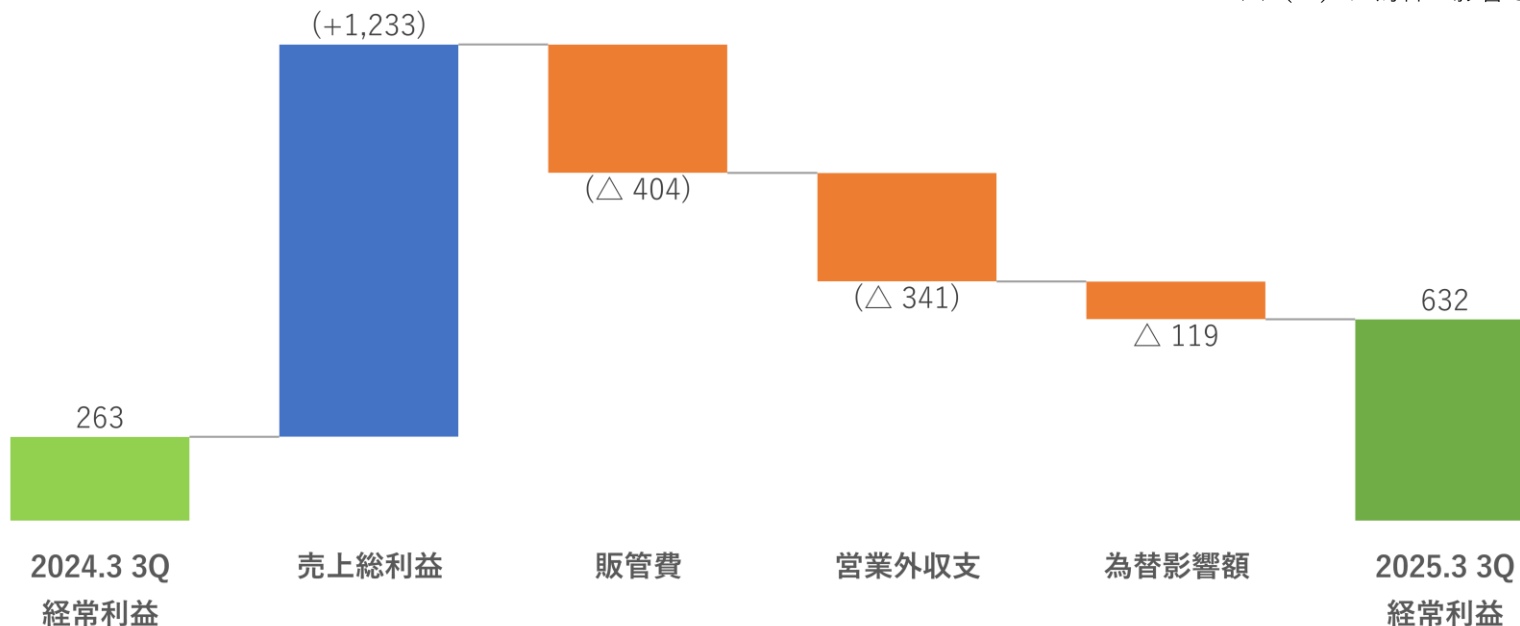


# 経常利益増減要因

原材料費や電力費等の高騰影響を受けるものの、主力製品の伸長や価格転嫁の進展により売上総利益は増加、人件費など販管費の増加、営業外では為替差損の計上等があるも、経常利益は増加

(単位：百万円)

※ ( ) は為替の影響を除く



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2024年 3月期 3Q	143.29 円	149.62 円	106.42 円
2025年 3月期 3Q	152.57 円	164.40 円	114.25 円

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回公表した2025年3月期の通期連結業績予想を修正しました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期		対前期 増減率
		前回予想	今回予想	
売上高	65,292	70,000	70,000	7.2%
営業利益	△268	700	1,000	—
経常利益	145	400	700	379.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△36	100	250	—

※業績予想の修正にあたっては、前提となる為替レートを、  
1米ドル=156円、1ユーロ=163円、1シンガポールドル=116円 としております。

- 売上：** 注力分野の薬剤調製・投与クローズドシステムのほか、海外主力の血液・細胞領域の売上が順調に拡大しており、概ね前回予想通りの売上を見込む
- 利益：** 原材料費及び電力費等の高騰影響を受けるものの、主力製品の伸長や価格転嫁の進展など増収効果により利益は回復基調、増益を見込む





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。